

第163期
上半期

株主の皆様へ

平成27年4月1日～平成27年9月30日

証券コード 5406

KOBELCO

お知らせ

- 「株主様見学会参加者募集のご案内」を6ページに掲載しております。

株式会社 神戸製鋼所

今一度、気を引き締め、 収益の改善、経営基盤の再構築に 引き続き取り組んでまいります。

株主の皆様には、格別のご高配を賜わりありがたく厚く御礼申し上げます。

当社グループの上半期の連結業績は、後述の「業績のご報告」でもご説明しておりますとおり、中国や東南アジアを中心とした景気の減速が想定以上であったことなどから、減益となりました。現在のところ、海外の市場環境の先行き不透明感は払拭できておらず、通期見通しにつきましても前年度を下回ると予想しております。

このような状況ではございますが、今期中間配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくという方針のもと、1株あたり2円とさせていただきます。株主の皆様には何卒ご理解を賜りたいと存じます。

代表取締役社長

川崎博也



さて、当社グループは「2013～2015年度グループ中期経営計画」に掲げた収益改善や経営基盤の再構築といった各種テーマに取り組んでまいりましたが、これらの取り組みの成果に加え、顧客の活動レベルが高水準であったことなどから、過去2年間は経常利益目標を前倒して達成してまいりました。しかしながら、今期につきましては、先に触れましたとおり減益の見通しであり、中期経営計画の最終年度にして目標の達成が難しい状況にございます。

収益改善活動やグローバル展開などの成果を踏まえますと、これまでの取り組みの方向性には間違いはないものと考えております。一方で、現在の状況を見れば、収益の改善・経営基盤の再構築は道半ばであることは明白であり、今一度、気を引き締める必要があると強く認識をしております。

そのためには、「収益の『安定』と事業の『成長』に向けた布石」として掲げた鋼材生産の上工程の集約や電力供給事業の拡大など大型プロジェクトの推進や、「経営基盤の再構築」として取り組んできたコストダウン投資の成果の取込みなどに注力することは当然ながら、足下の収益向上に資する拡販活動・体質改善、安定生産のための整備など地道な取組みについても、再度検証をし、引き続き取り組んでいかなばなりません。

さらには、今後の成長に向けて、新たな製品・技術の開発の歩みを止めることなく、加速していく必要があります。当社グループの成長の源泉は技術力・ものづくり力です。当社グループだからこそ可能な素材・機械の双方の技術の融合により、鉄・アルミ・溶接技術を組み合わせた部品

「マルチマテリアル」など、自動車や航空機などの輸送機の軽量化ニーズに応える新たな製品や技術の開発・提案を進めるほか、既に市場に展開している燃料電池車の部材や水素ステーション向けの各種機械など水素関連ビジネスの拡充・拡大にも積極的に取り組んでいく所存です。

現在の状況は決して芳しいものではなく、株主の皆様のご期待に十分応えることができてはいないことを肝に銘じながら、当社グループ一同、様々な施策に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月

※中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。

業績ハイライト(連結) (表示金額は、単位未満の数字を切り捨てております。)



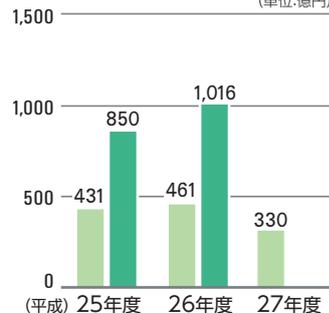
■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



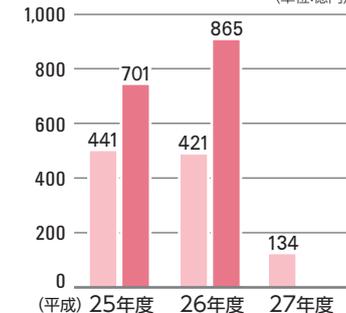
■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



■ 上半期 ■ 通期 (単位:億円)



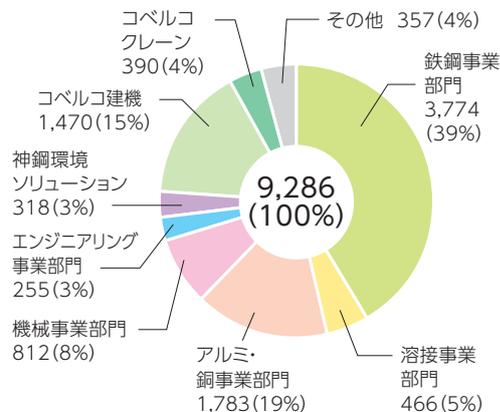
■当上半期の概況

当上半期の我が国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減があった前年同期から回復し、個人消費や企業の設備投資などは緩やかな増加が継続しました。また、海外では、米国や欧州において、緩やかながら景気回復基調が継続しました。一方、中国や東南アジアにおいては、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいて、鋼材の販売数量は、造船向けの需要が堅調に推移したものの、自動車向けの需要が減少したことから、前年同期並となりました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材の需要が増加したことなどから、前年同期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条・銅管とも需要が減少したことから、前年同期を下回りました。油圧ショベルの販売台数は、景気減速の影響が大きい中国や東南アジアにおいて需要が大幅に減少したことから、前年同期を下回りました。

この結果、当上半期の売上高は、前年同期並の9,286億円となりましたが、営業利益は、前年同期に比べ101億円減益の470億円、経常利益は、前年同期に比べ130億円減益の330億円となりました。また、中国における建設機械事業の関連会社について投資有価証券評価損を特別損失として計上したほか、その他の関係会社についても事業評価関連の特別損失を計上しました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産を積み増した前年同期に比べ、286億円減益の134億円となりました。

事業別売上高(平成27年度上半期) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額343億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額9,286億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

3,774 億円

(前年同期比 △2.4%)



- 鋼材販売数量：造船向け需要が堅調に推移するも、国内新車販売の前年割れなどから、自動車向け需要が減少し、前年同期並
- 鋼材販売価格：主原料価格の値下がりの影響などから、前年同期を下回る
- 鋳鍛鋼品売上高：国内造船向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- チタン製品売上高：前年同期比増
- 経常利益：主原料価格の下落に伴う在庫評価影響の悪化などにより、前年同期比29億円減益の75億円



加古川製鉄所 高炉



溶接事業部門

466 億円

(前年同期比 +2.2%)



- 溶接材料販売数量：国内造船向け需要が堅調に推移するも、中国・東南アジア・米国において需要が減少し、前年同期比減
- 溶接システム売上高：国内建築向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 経常利益：前年同期比3億円減益の43億円



銅めっきなしノリッドワイヤ



アルミ・銅事業部門

1,783 億円

(前年同期比 +10.4%)



- アルミ圧延品販売数量：飲料用缶材の需要増、自動車向け輸出拡販効果により、前年同期比増
- アルミ鋳鍛造品売上高：海外自動車向け需要が堅調に推移し、前年同期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車用端子や半導体およびエアコン向けの各需要が減少し、前年同期比減
- 経常利益：前年同期比33億円増益の94億円



アルミコイル



機械事業部門

812 億円
(前年同期比 +11.3%)



- 受注高：石油精製・石油化学業界向け圧縮機受注減も、海外向け大型樹脂機械案件などの受注により、前年同期並の736億円
- 当期末受注残高：1,392億円
- 経常利益：圧縮機や樹脂機械などでの競合環境激化により採算低下し、前年同期比4億円減益の28億円



樹脂混練造粒システム「LCMシリーズ」



エンジニアリング事業部門

255 億円
(前年同期比 +34.2%)



- 受注高：アルジェリアでの大型還元鉄プラント案件受注などにより、前年同期比192.9%増の425億円
- 当期末受注残高：889億円
- 経常損益：前年同期比25億円増益の20億円の利益



MIDREX®プラント



神鋼環境ソリューション

318 億円
(前年同期比 +17.2%)



- 受注高：水処理関連事業での受注量増加などにより、前年同期比3.0%増の466億円
- 当期末受注残高：638億円
- 経常利益：前年同期比2億円増益の6億円



相模原市南清掃工場



コベルコ建機

1,470 億円
(前年同期比 △13.4%)



- 油圧ショベル販売台数：前年同期比減
〔国内〕更新需要の一巡により減
〔海外〕景気減速影響大の中国や東南アジアでの大幅な需要減により減
- 経常損益：前年同期比166億円減益の4億円の損失



50トン級建物解体専用機
「SK550DLC NEXT仕様」



コベルコクレーン

390 億円
(前年同期比 +8.8%)



- 販売台数：国内需要の堅調な推移により前年同期比増
- 経常利益：製品の品質維持・改善費用増加により、前年同期比7億円減益の24億円



本格基礎土木仕様の
ベスマシン
クローラークレーン
「BM1500G」



その他

357 億円
(前年同期比 +17.2%)



- 神鋼不動産：
〔分譲事業〕引渡戸数増加
〔賃貸事業〕堅調に推移
- コベルコ科研：
〔試験研究事業〕自動車関連需要堅調に推移
- その他の事業全体の経常利益：前年同期比14億円増益の33億円



ジークレフ
須磨名谷レジデンス

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。

● 鉄鋼事業部門 ● 機械事業部門 ● エンジニアリング事業部門 ● 本社

機械事業部門

LNG(液化天然ガス)気化器が マルタ島LNG受入基地で採用



マルタ島LNG受入基地向けLNG気化器

エンジニアリング事業部門

インドネシア共和国で地下鉄向けシステム・軌道工事契約を受注

当社は、三井物産株式会社、東洋エンジニアリング株式会社および同社の現地グループ会社と共同で、同国初の地下鉄となるジャカルタ都市高速鉄道南北線向け鉄道システム一式・軌道工事を約250億円を受注しました。当社は、各社の関連システムを集約し、各機能が正しく動くようにするシステムインテグレーションと、信号・通信設備、自動出改札システム、ホームドア等の設計・供給を担当します。本計画は、急激な経済成長による同地の深刻な交通渋滞緩和および投資環境改善に繋がる基幹インフラ整備を目的にしており、日本の優れた鉄道技術の導入を通じ、同国の更なる経済発展に貢献します。

本社

真岡発電所建設計画が内閣官房「国土強靱化 民間の取組事例集」に選定

当社は、「2013～2015年度 グループ中期経営計画」で、電力供給事業拡大を掲げており、現在、2019年後半からの稼働を目指して、栃木県真岡市で120万kW級のガス火力発電所の建設に向けた手続きを進めています。そのような中、当該発電所建設計画が、内閣官房の「国土強靱化 民間の取組事例集」の事例に選ばれました。

この事例集は、内閣官房が、民間企業の国土強靱化に資する主体的な取組促進に向けた施策展開のために、大規模自然災害に対する民間企業の災害対応力や地域の防災力の向上等に役立つ取組みなどを選定したものです。

本発電所の特徴としては、津波被害の危険のない陸部に立地すること、最新鋭の高効率発電設備による国内最高レベルの発電効率を得ること、既存または計画済のガス幹線・送電網などを活用することが挙げられます。この結果、関東北部への安定的な電力供給を可能にすることに加え、臨海部への依存度の高い首都圏全体にとって貴重なバックアップ電源となることも期待されています。

当社は、本プロジェクトを遅滞なく進め、国土強靱化の一端を担うとともに、社会の発展に貢献してまいります。

2015

(平成27年)

4月

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所の2基目の高効率 自家発電設備営業運転に関する 手続き完了

設備外観



機械事業部門

長寿命で信頼性・環境性の高い圧縮空気蓄電システムの開発に着手

当社は、早稲田大学スマート社会技術融合研究機構、一般財団法人エネルギー総合工学研究所と共同で、「断熱圧縮空気蓄電システム」の開発に着手しました。

再生可能エネルギーは、天候等により出力が大きく変動する欠点がありますが、圧縮空気蓄電システムは、発電した電気のうち余剰分を圧縮空気と熱の形で貯め、必要な際に圧縮空気と熱を使って再び発電するシステムです。これにより不安定な出力を安定させることができます。このように、今回の開発は再生可能エネルギーの問題点の解決方法として取り組むものであり、当社は、圧縮機総合メーカーとしての長年の実績を生かし、圧縮機、発電機、熱貯蔵タンク、空気貯蔵タンク等の機器製造を担当し、2017年度以降の商品化を目指します。

このように、今回の開発は再生可能エネルギーの問題点の解決方法として取り組むものであり、当社は、圧縮機総合メーカーとしての長年の実績を生かし、圧縮機、発電機、熱貯蔵タンク、空気貯蔵タンク等の機器製造を担当し、2017年度以降の商品化を目指します。

7月

エンジニアリング事業部門

アルジェリアにおけるMIDREX®直接還元鉄プラント 新規受注

鉄鋼事業部門

加古川製鉄所の競争力強化に向けた上工程設備投資決定

加古川製鉄所では2014年4月から脱硫設備2基と脱りん炉1基を備えた新溶銹処理工場が稼働中ですが、この度、2基目の脱りん炉の建設を決定しました。当社のオンリーワン製品の代表でもある、自動車用高張力鋼板(ハイテン)やばね鋼などは、一般的な鋼材より高い清浄度が要求され、溶銹処理によって硫黄やりんといった不純物を除去する必要があります。

新設備は、2017年度に営業運転を開始する計画で、年間20億円強のコストダウンを達成するとともに、稼働後は、脱りん炉2基体制により、従来より大幅な処理時間の短縮と効率化を図ることができ、オンリーワン製品等の高付加価値製品への更なる対応力向上を図ります。

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。
<http://www.kobelco.co.jp>

当社は株主の皆様当社へのご理解を一層深めていただくために、引き続き株主様見学会を実施いたします。今回ご覧いただくのは、**加古川製鉄所**と**コベルコ建機 広島事業所**でございます。つきましては下記の内容にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。



開催場所：加古川製鉄所(兵庫県加古川市金沢町1)
コベルコ建機 広島事業所
(広島県広島市佐伯区五日市港2丁目2-1)

対象者：平成27年9月30日現在、当社株式1,000株以上を
ご所有の株主様

募集人数：加古川製鉄所 360名(各回90名)
コベルコ建機 90名(各回45名)

※募集人数には同伴者も含まれます。

株主様見学会の概要

申込番号	開催場所	実施日時 (平成28年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
①	加古川製鉄所	3月7日	8:50	13:00頃	JR加古川駅※
②			13:15	17:25頃	
③		3月8日	8:50	13:00頃	
④			13:15	17:25頃	
申込番号	開催場所	実施日時 (平成28年)	集合時刻	解散予定時刻	集合・解散場所
⑤	コベルコ建機 広島事業所	3月11日	9:30	12:00頃	JR五日市駅※
⑥			13:30	16:00頃	

※詳細は、ご招待状にてご連絡させていただきます。

以下の点につき、あらかじめご了承ください。

※株主様見学会コースは比較的長い距離の徒歩での移動となります。
途中何ヶ所か階段がございます。

※ご応募が多数の場合、抽選とさせていただきます。

抽選の結果は2月上旬にご通知する予定です。

※同伴者様は1名まで(小学生以上)とさせていただきます。

※以下の場合、ご応募は無効とさせていただきます。

- 株主様ご本人のご応募・ご参加でない場合
- 同伴者様を2名以上ご記入の場合
- 申込番号を2つ以上選択されている場合、もしくは1つも選択されていない場合
- 株主様1名につき、2枚以上ご応募された場合
- 株主様お名前等、必要事項のご記入がない場合

応募方法：同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。

(対象者の方にのみ、はがきを同封しております。)

【締切日:平成28年1月4日(月)到着有効】

参加費：無料

※ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。

お問い合わせ先：株式会社神戸製鋼所 法務部 株主様見学会係

TEL 078-261-4067

受付時間 10:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

これまでの開催実績(過去5回分)

	日時	開催場所	募集人数	ご応募総数
第12回	平成25年 11月	高砂製作所	320人	2,039通
第13回	平成26年 3月	加古川製鉄所・ コベルコ建機広島事業所	450人	2,306通
第14回	平成26年 11月	真岡製造所	240人	1,447通
第15回	平成27年 3月	神戸総合技術研究所・ 神戸製鉄所	290人	3,026通
第16回	平成27年 11月	高砂製作所	320人	2,202通

環境への取組みと社会との共生

神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。

■環境経営基本方針

「グループ環境経営の実践によるさらなる企業価値向上」

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

1. 環境に配慮した生産活動
2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献
3. 社会との共生・協同

を実践することにより、社会的責任を果たすと共に、環境力を高め企業価値を向上させる。

■「国際フロンティア産業メッセ2015」に出展

【兵庫・神戸から「チカラ」を地域へ、世界へ】をテーマとして、2015年9月3日・4日に、神戸国際展示場で開催されました「国際フロンティア産業メッセ2015」に神戸製鋼グループも出展しました。

昨年度を上回る29,455人の来場者の関心を引くとともに、多くの業界紙で取り上げられ、神戸製鋼グループの取組みを知っていただくことができました。

(主な出展製品等)

- ・エコメル、スラグ漁礁、フレア護岸、ケニファイン、津波キーパー、移動電源車、自動車軽量化技術、水素ビジネス関連 等



展示ブースの様子

■「森の世話人」活動で コベルコシステム株式会社に感謝状

神戸製鋼グループの1社であるコベルコシステム株式会社は、六甲山の森を守り育てる活動に賛同し、「森の世話人」として2010年から金鳥山(神戸市東灘区)の南側の森林を「Kocoroちゃんの森」と名付けて整備しています。

この活動では、コベルコシステム株式会社の社員やその家族をはじめ他の神戸製鋼グループ会社も協力し、森林内の整備(ネザサ刈りなど)、倒木・腐朽木の除去、植樹等を実施し、六甲山の森づくりに貢献しています。

このたびこの活動が評価され、2015年6月28日に、国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所や兵庫県、神戸市などが主催する「六甲山サミット」において、功労者として感謝状が贈呈されました。この功労者には、登録46団体中7団体が選定されましたが、企業として選ばれたのは同社のみでした。

「永年の活動の積み重ねをご評価いただいたことに感謝するとともに、神戸の企業として、より地元へ貢献できるよう、今後も活動を継続していきたいと考えています。」(コベルコシステム株式会社 経営企画部)



活動の様子



表彰式の様子

■「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」

当社は、「第3回 KOBELCO 森の童話大賞」の募集を行ないました。この事業は、全国の小学生、中学生、高校生を対象とした「森」をテーマにした創作童話のコンテストです。最優秀作品については表彰を行なうとともに、絵本作家による挿絵制作および絵本化を行ない、学校や公立図書館等に寄贈して環境啓発ツールとして活用していただく予定です。

当社は従来から地域に根ざしたNPO活動を支援するとともに、森林整備活動(KOBELCOの森、ECOWAYの森)、神戸市内の児童館への「出前エコ教室」事業への参画など、従業員による実働・参画型の環境・社会貢献活動を展開してきました。

さらに、2013年度からはこれらの活動を深化させる形で、「KOBELCO GREEN PROJECT」を創設し、そのシンボル事業として「KOBELCO 森の童話大賞」をスタートさせました。

本年度は地元兵庫県をはじめとする多くの自治体よりご後援をいただき、加えて、教育関係者への積極的なPRの結果、昨年度を上回る574件の応募をいただきました。

当社はこれからも様々な活動を通じて地域社会への貢献を進めていきます。

審査結果発表:11月下旬予定

表彰式:2016年1月24日(日)

灘浜サイエンススクエア
にて開催予定



■ラグビーの普及活動

当社ラグビー部 神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビーを通じて地域・社会との交流やスポーツの裾野を広げる活動を行なっています。

たとえば、今年も神戸市が主催するラグビー人権教室に選手が参加しました。この教室は、国が推進するスポーツ組織と連携・協力した人権啓蒙活動の一環として開催されているもので、今年で3回目となります。選手たちは、自らの体験を語ることやラグビー教室を通じてフェアプレーや助け合い、ノーサイドの精神を神戸市の小学生と一緒に学びました。

また、初めての試みとして、視覚障害のある子供にもラグビーを通じて体を動かすことの楽しさを知ってもらうために、日本ブラインドサッカー協会と一緒に、視覚障害のある小学生を対象としたブラインドラグビー体験を行ないました。子供達は目が見えない分、選手の身体に触れたり、選手がタックルする音に歓声を上げたりするなど、充実した体験会となりました。

このほか、地域住民やファンの方々との交流を深めるとともに、ラグビーを知らない方にラグビーの良さを伝え、ラグビーに興味を持っていただくために、地域のお祭りやトークショー等のイベントに選手が参加しています。今後も当社ラグビー部は、ラグビーを通じて地域・社会と積極的に交流を図り、多くの方々にラグビーの魅力を伝えていけるよう努力していきます。



ブラインドラグビー教室の様子



小学生にラグビーの指導を行なう選手達

事業分野

(平成27年9月30日現在)

鉄鋼事業部門

条鋼(普通線材、特殊線材、特殊鋼線材、普通鋼棒鋼、特殊鋼棒鋼)、鋼板(厚板、中板、薄板<熱延・冷延・表面処理>)、鋼片、鑄鍛鋼品(船用部品・電機部品・産業機械部品等)、チタンおよびチタン合金、鉄粉、鋳物用銑、製鋼用銑、スラグ製品、ステンレス鋼管、建材、各種特殊鋼製品、各種鋼線、電力卸供給

溶接事業部門

溶接材料(各種被覆アーク溶接棒、自動・半自動溶接用ワイヤ、フラックス)、溶接ロボット、溶接電源、各種溶接ロボットシステム、溶接関連試験・分析・コンサルティング業

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品(飲料缶用アルミ板、熱交換器用アルミ板、自動車用アルミ板、各種アルミ押出品、磁気ディスク用アルミ基板)、銅圧延品(半導体用伸銅板条、自動車端子用伸銅板条、リードフレーム、復水管、空調用銅管)、アルミニウム合金およびマグネシウム合金鑄鍛造品(航空機用部品、自動車用部品等)、アルミ加工品(自動車用部品、建材、建設用仮設資材等)

機械事業部門

エネルギー・化学関連機器、原子力関連機器、タイヤ・ゴム機械、樹脂機械、超高压装置、真空成膜装置、金属加工機械、各種圧縮機、冷凍機、ヒートポンプ、各種プラント(製鉄圧延、非鉄等)、各種内燃機関

エンジニアリング事業部門

製鉄プラント(還元鉄)、各種プラント(ペレタイジング、石油化学等)、原子力関連プラント、砂防・防災製品、土木工事、新交通システム

神鋼環境ソリューション

水処理プラント、廃棄物処理プラント、化学・食品関連機器

コベルコ建機

油圧ショベル、ミニショベル、ホイールローダー

コベルコクレーン

クローラークレーン、ラフテレーンクレーン、作業船

その他

不動産開発・建設・分譲・仲介・リフォーム、不動産賃貸・ビルマネジメント、マンション管理、特殊合金他新材料(ターゲット材等)、各種材料の分析・解析、高压ガス容器製造業、超電導製品、有料老人ホームの運営、総合商社

連結子会社および持分法適用会社 [212社]

※印は持分法適用会社であります。(平成27年9月30日現在)

鉄鋼事業部門：43社

日本高周波鋼業株式会社、神鋼特殊鋼管株式会社、神鋼建材工業株式会社、神鋼神戸電機株式会社、神鋼物流株式会社、神鋼ボルト株式会社、堺鋼板工業株式会社、株式会社神鋼エンジニアリング & メンテナンス、*株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ、*神鋼鋼線工業株式会社、*関西熱化学株式会社、*日本エアロフォージ株式会社、*株式会社テザックワイヤロープ、*プロテック コーティング CO.、*鞍鋼神鋼冷延高張力自動車鋼板有限公司、*エスアールティー オーストラリア Pty Ltd 他

溶接事業部門：22社

エヌアイエル株式会社、青島神鋼溶接材料有限公司、コウベ ウェルディング オブ コリア CO.,LTD. 他

アルミ・銅事業部門：24社

株式会社コベルコ マテリアル銅管、神鋼汽車鋁材(天津)有限公司、神鋼汽車鋁部品(蘇州)有限公司、コウベ アルミナム オートモーティブ プロダクツ LLC、コウベ プレシジョン テクノロジー SDN.BHD. 他

機械事業部門：21社

コベルコ・コンプレッサ株式会社、神鋼造機株式会社、神鋼圧縮機製造(上海)有限公司、コベルコ コンプレッサーズ アメリカ,INC.、*無錫圧縮機股份有限公司 他

エンジニアリング事業部門：16社

ミドレックス テクノロジーズ,INC. 他

神鋼環境ソリューション：15社

株式会社神鋼環境ソリューション、神鋼環境メンテナンス株式会社 他

コベルコ建機：33社

コベルコ建機株式会社、東日本コベルコ建機株式会社、西日本コベルコ建機株式会社、成都神鋼工程機械(集団)有限公司、成都神鋼建設機械有限公司、杭州神鋼建設機械有限公司、成都神鋼建機融資租賃有限公司、タイ コベルコ コンストラクション マシナリー LTD.、コベルコ インターナショナル シンガポール CO.,PTE.LTD.、コベルコ コンストラクション マシナリー (USA) INC.、コベルコ コンストラクション イクイップメント インディア PVT.LTD. 他

コベルコクレーン：11社

コベルコクレーン株式会社 他

その他：27社

神鋼不動産株式会社、株式会社コベルコ科研、神鋼投資有限公司、コウベ スチール USA ホールディングス INC.、*神鋼商事株式会社 他

取締役および監査役、執行役員

※印は、各事業部門長であります。(平成27年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)
佐藤 廣士

取締役社長(代表取締役)
川崎 博也

■本社

取締役副社長(代表取締役)
梅原 尚人

常務執行役員
三宅 俊也

執行役員
山本 浩司

専務取締役
杉崎 康昭

執行役員
河原 一明

執行役員
大久 保安

専務執行役員
森地 高文

執行役員
北川 二郎

執行役員
勝川 四志彦

■鉄鋼事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※尾上 善則

常務執行役員
水口 誠

執行役員
岡 欣彦

専務執行役員
宮下 幸正

常務執行役員
柴田 耕一朗

執行役員
宮崎 司

常務執行役員
後藤 隆

執行役員
松原 弘明

■溶接事業部門

常務取締役
※輿石 房樹

執行役員
山本 明

■アルミ・銅事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※金子 明

常務執行役員
藤井 拓己

常務執行役員
加藤 宏

執行役員
磯野 誠昭

■機械事業部門

取締役副社長(代表取締役)
※榎木 一秀

専務執行役員
大濱 敬織

専務執行役員
山口 貢

■エンジニアリング事業部門

専務取締役
※眞部 晶平

常務執行役員
森崎 計人

執行役員
石川 裕士

■社外取締役

取締役
北畑 隆生

取締役
越智 洋

監査役(常勤)
藤原 寛明

監査役(社外監査役)
佐々木 茂夫

監査役(社外監査役)
坂井 信也

監査役(常勤)
山本 敬藏

監査役(社外監査役)
沖本 隆史

会社の概要

(平成27年9月30日現在)

- 創 立 明治38年9月
- 資 本 金 2,509億3,003万3,900円
- 発行済株式総数 36億4,364万2,100株
- 株 主 数 213,261名
- 従 業 員 数 10,966名

事業所

神戸本社 〒651-8585 神戸市中央区脇浜海岸通二丁目2番4号

☎078(261)5111(大代表)

東京本社 〒141-8688 東京都品川区北品川五丁目9番12号

☎03(5739)6000(大代表)

支 社 大阪・名古屋

支 店 北海道(札幌市)・東北(仙台市)・新潟(新潟市)・
北陸(富山市)・四国(高松市)・中国(広島市)・
九州(福岡市)・沖縄(那覇市)

海 外 ニューヨーク・シンガポール・上海

(注)「海外」には現地法人を含めております。

研 究 所 神戸

製鉄所・工場 〈鉄鋼〉加古川・神戸・高砂

〈溶接〉藤沢・茨木・西条・福知山

〈アルミ・銅〉真岡・長府・大安

〈機械、エンジニアリング〉高砂・播磨

神戸製鋼グループ企業理念

当社グループは、下記の企業理念のもと、株主・投資家、顧客や取引先、従業員、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆様に対して、企業としての社会的責任を全うできるよう努力を続けることにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します
2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます
3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

インターネット ホームページ <http://www.kobelco.co.jp>

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
定時株主総会	6月	特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
基準日	定時株主総会 3月31日	同事務取扱場所	大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
	剰余金の配当 期末 3月31日		三菱UFJ信託銀行株式会社
	中間 9月30日		大阪証券代行部
公告方法	電子公告(当社ホームページをご覧ください) http://www.kobelco.co.jp		

株式に関するご案内

当社の株式に関する住所・氏名等の変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求および相続などのご相談、お手続きは、以下のとおりです。

- ①証券会社にお預けの株式について
お預けの証券会社にお問い合わせください。
- ②証券会社にお預けでない株式について
三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

未受領配当金のお受け取りのお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

〈郵便物および電話でのお問い合わせ先〉
〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

☎ 0120-094-777
(通話料無料:オペレーターがお伺いいたします。)
土・日、祝日、年末年始を除く9:00～17:00

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社に預けられていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。

平成26年以降、上場株式等の配当等には、復興特別所得税を含め、20.315%（※）の源泉徴収税率が適用されております。

（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%

※詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。